

## 【保土ヶ谷区】

※GREEN×EXPO 2027の事業に関係するものを抜粋し、原則原文のまま掲載しています。

※いただいたご意見のうち判別のできない文字は●で表示しています。

- 横浜で開催される博覧会なので、ぜひ成功させて欲しいと思います。
- 多くの入場があることを願っています
- EXPOの跡地はどのようなのですか
- 跡地活用（この活用案）をきちんと実現して欲しい。（～`2030までに）
- 交通渋滞対応としての駐車場の完備は？博覧会の総予算は？いくらですか。又入場料は？跡地活用について一般住宅は？レジャー施設は？商業施設は？
- 防災公園たのしみにしてます
- バスで輸送との事ですが運転手はかくほ出来るのですか？
- 一方通行の会場に入り出口と動くのか交互通行なのか少し混乱するのか心配する面も有ります。便利な方法を考えて下さい。
- EXPOにしては会場がせまい、草花で脱炭素？
- 開催後の跡地利用についてもっと詳しく知りたい。
- 数値をベースにしたポートフォリオの説明が全くなかったのは残念！
  - 市民の貴重な税収入に対するリターンの見える化を。
  - 3年後のコストUP、経済環境、自然環境等の変化に対するリスクヘッジはどうするのか？
- 3年後をととても楽しみにしています。また抽象的としか感じられませんでした。
- 成功を期待しております。
- 会場へのアクセスは公共交通（バス）を充実してほしい。電気自動車EVやFVで環境をアピールしてほしい
- 開催が楽しみである
- 障害者（歩行不自由者）対策。
  - 市民の参加、花壇、ボランティア。
  - 車両の流れ（カーナビ情報発信。
  - 道路整備
  - 公的交通、増便
- 予算関係を知りたい。
- 横浜の子どもたちが参加できるイベントになればと思います。保育園や幼稚園、小学生から中高生まで、来場者としてだけでなく、自分事として参加できる方法を考えてほしいです。
- 実際にEXPOのボランティアを行いたい、今回の説明会に参加したいと思うガーデニングのエキスパートも数多くいますが、情報が発信されていないため、情報を届けられてないと思います。広域防災拠点にするには横浜中心部より遠いと思いました。実際に利用できるのは市民何%で考えてるのでしょうか
- 会場内の移動手段？入場料が高いと行かないよ
- 3月から9月という花壇維持として、雑草がひっきりなしに生えてくる。来場者が草むしりするような仕組みを考えてみては。雑草対策は人海戦術が一番です。草むしり為の軍手を配る…集めた、雑草をすてる場所を配置する等、色々アイデアがあります。
- まだ現時点では具体的な出展等がイメージできない（これから様々募集されるのだな）という準備段階な印象だった。交通面の質問について、最寄り駅からのシャトルバスの話などもあったが今市営バスの運転手不足の状況と思う。3年後に日常の公共交通と催時の交通と両立するよう対応お願いします。
- 宿泊施設や交通手段について考えて下さい。料金についても考えて下さい。5千円、6千円の入場料では高すぎる。
- 足を確保してほしい。
- 周辺の交通網が気になります。住民の方々にとってプラスになるようにして欲しい。跡地利用、防災!!大賛成です。予算等を明確にしてやって欲しい。
- 保土ヶ谷区からの交通機関が少し心配と思います。
- 隣の大和市や海老名市等にもPRして
- 植物好きでハーブ、アロマ、野菜づくり他、接しているので何らかの形で関わらせていただきたいと思います。楽しみにしています。

- ・市長の説明の中に「自然環境を守る」「緑を増やす」という目標が示されましたが、その一方で、不必要と思われる樹木の伐採、剪定が行われている事を目にします。たとえ私有地であろうと、これらの行為を制限することは出来ないのでしょうか。既存の枠組で出来ないのであれば、新しい仕組みや条例は検討されているのでしょうか？
- ・心臓の音テュンクテュンクはこれからのグリーンエキスポ2027を待ち焦がれているように思い、成功を祈ってます。環境は横浜に住む私達に一番かかわる事。よいように私達もたずさわっていきたい！
- ・強大なエネルギーにて計画していくことですが、作り上げたものが”持続可能な”施設をめざして欲しい。終わったから壊すというのは、どうも納得できない例があるので。
- ・横浜といえば港、丘に世界の眼が向くか横浜市、市長の腕を見せていただきたい。住みやすい地、横浜。
- ・横浜からの動線というより新横浜、羽田からの動線を考えないといけないと思う。国内、国外からの動線が悪いと来場者の数を確保できないと思います。
- ・防災拠点が横浜市には無いとのこと。GREEN EXPO後ではなくいつも起こるとわからない大地震に備えて博覧後でなく大緊急の課題と感じました。市長は”子供達が大切”とおっしゃいました未来を担う子供達を災害から守って欲しいです。
- ・昔の園芸・農→現在の→将来の等具体的に知り体験できるゾーンは行事を企画されたい。
- ・道路渋滞の解消をグリーンエキスポの催事に併せて計画願いたい。又、開催後の防災拠点は多いに期待している。
- ・ぜひ成功してもらいたいですね
- ・大いに不安を感じた。
- ・チラシのデザインが3度変更されている→必要なのか。又、今後も変更の予定があるのか。会場のみをきれいにしても意味がない。2000数か所ある公園の整備はどうするのか。
- ・子供たちのために、自然にふれ合うデジタルシミュレーションなる物が有るとの事！  
これほど広大な自然、里山等も用意する様なのになぜデジタルシミュレーションなのか？本物の自然にふれてもらうのが一番なのでは？理解に苦しむ！
- ・横浜の範囲が広い。会場へのアクセス不便。結局は会場付近だけの参加になるのでは
- ・マヤ文明はCO2とは関係なく、自然現象としての異常気候により滅亡しています。（9世紀頃）。現在の異常気象を全てCO2で説明するのは無理だと思います。日光、風にたよらない安定した発電は地熱です。
- ・EXPOが終わった後は遊園地ができると聞きました。本当でしょうか？
- ・横浜市のボランティア組織について団体よりくわしく知りたいです。
- ・開催後の防災拠点となる事はとても良いことだと思う
- ・入場料などどの程度の金額になるのか、交通手段はどの位使いやすいのか、駅から近いのか
- ・もう少し早く説明会で知りたかったです。途中経過の説明会も欲しいです。
- ・ 予算規模とその裏付けは？
  - ・市民参加による開催を。
  - ・経済効果は期待しない。
  - ・跡地活用に期待する。
- ・横浜市が緑の環境づくりを大切にしていける取り組みは、子や孫にも誇れることだと思う。
- ・イベント後に残す施設があるなら、日頃から市民が利用できるものを残してほしい。（利用されない維持費のみかかるものはいらない）
- ・経費（予算明細）と予実対比及び差異内容をオープンにする事。
- ・障害者にやさしいEXPOと市長が申されておりましたが、駅からの交通手段の説明がなかった。（バスのみでしょうか、1000万人（予定）をバスのみで）年配者やハンデキャップを持つ人が瀬谷駅、三ツ境駅から歩けるのでしょうか。YES89'の時のような様々な交通手段を望みます。車での来場をうながす様だと、環境エキスポの概念に反する。YES89'の時は、大黒埠頭を駐車スペースとして船で輸送していた。CO2の削減をテーマとしたEXPOに大量の車での来場を想定して道路や駐車場を整備（公費で）するのはおかしいのではないかと。  
電気自動車のみを想定しているのか。
- ・開催期間が3月～9月なので、7・8月夏の暑さ対策を十分に考慮する必要があると思います。
- ・ 工事の予算は～～～億不明
- ・何らかの形で参加できればと思います。博覧会会場と開催期間だけの「環共」取り組みになったら、今までの博覧会と一緒にです。生活圏の緑化運動につながる取り組みにする必要があると考えます。一過性のイベントに終わらないようにしたいものです。
- ・グリーンエキスポは地球温暖化防止に繋がると思います。大変良い活動だと思われます。
- ・開催後の防災拠点になる事は市民にとって安心です。予算に対して市民が納得する収支にしてほしい。

- 花博も良い。ただ、より身近な場所での環境整備を行いたい。EX。現状2号線の側道を雑草で覆うのではなく、四季の花、気が見られる様な事も行いたい→無駄な雑草、木の整備を積極的に行って欲しい。
- 説明頂いたテーマ”環共”と社会課題のCN(カーボンニュートラル)とはとても関連性が有ります。今回の資料にある隊列走行技術など、新しい技術の取り組みなどを取り上げて頂きたい。
- 開催にあたってかなりの無理(環境へのダメージ)があり、開催後の計画も判然としていない。
- 防災拠点が出来るのは大賛成です。今後、会場の熱さ対策は十分にされますか？
- 環境意識が高まるイベントを多く取り入れて下さい。
- ・交通手段(バス・自家用車)による駐車場の整備、渋滞情報の整備と分かりやすい誘導の方法など作成してほしい。
  - ・ EXPO2027開催後の土地利用計画を示してほしい。(防災拠点以外で)
- ボランティアと並行してスタッフ等で特に高齢者の雇用についても考えていただけるとありがたいです。
- 町内会のメンバーの方が日頃地域活動を色々な形で行なっていますがこのイベントの成功にはその皆様の活動が大切だと感じました。高齢の方が多いのでぜひ若い方々と一緒に参加できたらと思います。
- ※横浜市全体が日常的にグリーンエキスポの会場である様な街づくりにしてもらいたい！※身近な環境を緑に！
- 何かEXPOの説明はわかったが、考えるスパンとしてもっとEXPOとは離れた生のながい基本となる考え方も欲しい。EXPOとは別で明治神宮の社の様なスパンの長い博覧会的なテーマも欲しい。物の考え方として、基本は人の一生と植物との一生、時間の早さが違うので
- 脱炭素技術について事前に知りたい。高気温化に伴う熱さ対策は、どのように考えているか。
- ぜひ会場の展示に「水のコーナー」を作ってください。花緑と水は切り離せない。
- 外来種の植物が帰化しない事
- 色々のブースがたくさん出来るとの事で楽しみにしている
- 町内、自治会、向けに、市営バスを提供して。(割安で)。(団体用バスのこと)高齢者、子供、向けです。『環共』→言葉あそび的である。地域に根づくことは無い。環境で十分に理解出来る。脱炭素もっとアピール。地域発展の為→里山破壊された。(瀬谷は元保土ヶ谷区)
- アクセス方法、交通が一番のネックになるのでは？十分なシミュレーションが必要。県外からの来場者は東名高速、保土ヶ谷バイパスが主体となる。現在も日々混んでいる状況である。
- 環境に対する考え方が不足しているように、思える。
- 環境・共生は重要であるが、EXPOが必要とは結びつかないので説明が欲しい。上瀬谷で防災拠点にすることは賛成。EXPOがあると国の補助金が入るから？
- 横浜市予算がない中、その予算をどうするのか？税金を使用するのか？どの程度の予算がかかるのか？今現在、横浜市民ですら、GREEN×EXPOのことを知らない。今後、国内外にどの様にアピールしていくのか？防災拠点(防災倉庫等)だけではなく、各関係機関が総合的に訓練ができる場所にして欲しい。
- EXPOが終了しても子供ビレッジは残し、子供達の為に活用して欲しい。
- GREEN EXPO開催までにどんな事をやるのか具体的な内容を発信して行ってほしい；
- 私はたちばなの丘公園の近くに居住しており毎朝ウォーキングをしており自然公園として身近な存在であるが、竹林が荒れているのが気になる。竹林整備を中心とした愛援会を作ってもらえれば積極的に参加したい。→ホテルの生息地でもある。毎年5月末～6月上旬にかけ遠くから多くの人が見に来る場所でもある(旭区と保土ヶ谷区に接する)
- マスコットネーム「トゥンクトゥンク」はデザインも含めとても良いです。
- 防災拠点だけでなく、ほかにどんな施設ができるのか
- 開催日は、すでに決まっていますが、猛暑の中の開催が心配。花緑の管理など
- 使用後のテーマがすばらしいと思いました。
- 入場料について、参加しやすい価格にしてほしい！
- 交通の便が良くない場所での開催で行くことを考えてしまいます。1ヘクタールとの広大な土地を歩くのは大変な気がします。それでも行きたいと思える何かが必要だと思えます。
- 跡地が防災の拠点になると伺い安心しました。
- 脱炭素をテーマにしているわりには、その方法や解決にたいするとりくみがわからない。
- 引続き案件の深化が必要。まだまだ身近でないので引続きキャンペーン必要。終了後の防災拠点のイメージが沸きませんか？課題は？
- ①海外から何ヶ国が参加するのか？②海外からの来場者を何名程度見込んでいるか？③来場者は市内・市外から何名程度見込んでいるか？
- とても良い企画で、開催が楽しみです。横浜市民として、よい環境に住んでいる事が幸せだと感じました。

- EXPO終了後の跡地利用として、花が咲き、実がなり、小鳥の集えるような森＝グリーンを創造して欲しい。現状の跡地利用では、森や林その考えはないようですが、一考願いたい。
- 市民全体が参加できる活動（イベント）を考えてほしい。
  - EXPO後もさらにGREEN活動を継続してほしい。
  - 横浜に住んで本当に良かったとして下さい。
- 様々なビレッジの内容が知れてワクワクしてきました。ガーデニングが趣味からカーボンニュートラルの一つとして認識してもらう取り組みとして是非成功させたいと思います。
- 予算的なこと、来場者目標等